

# スーパーマーケット景気動向調査

2017年9月調査結果（8月実績）  
（2017年9月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 9月調査（8月実績）結果概況

### 景気判断DIは現状・見通し判断ともに2か月続けてわずかに改善

8月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI現状判断は前月から+1.4の45.6、見通し判断も前月から+0.2の42.3となり、ともに2か月連続でわずかな改善となった。

経営動向調査では、売上高DIが-7.6、収益DIは-7.4とともに前月に比べて上昇した。月後半の青果相場の上昇や畜産相場の高値により生鮮品仕入価格DIが7.3と上昇したことで、販売価格DIが3.1とプラス圏まで上昇、客単価DIもわずかながらプラスとなった。二桁のマイナスが続いていた来客数DIも-8.9とやや回復したことも追い風になった。

カテゴリー動向調査では、畜産と惣菜DIのみプラスであったが、単価が下げ止まった青果DIや寄生虫アニサキス報道の影響は残るものの、土用二の丑によりうなぎが好調であった水産DIではややマイナス幅を縮小した。日照不足や前年からの気温差の影響を心配された日配や一般食品DIには大きな落ち込みがみられなかった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、総じて前月から変化はみられなかったが、わずかながら2か月連続で改善するなど底堅さも見られるようになっている。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

景気判断では、現状判断に比べ見通し判断の低迷が続いている。今月、客単価と来客数のDIがともにマイナスとなることは回避されたが、これが一時的ではなく、継続的に客単価増や客数増を生み出す構造的な変化への実感が、見通し判断の低迷に大きく影響しているとみられる。8月は記録的な日照不足など異常気象が相次いだが、消費者ニーズの変化に素早く対応し、その悪影響を緩和する取り組みが多くみられた。この対応力を武器に今後見通し判断の改善が続くことに期待したい。

#### 景況感調査

##### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月：45.6 (+1.4) 前月：44.2	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：44.9 (-0.3) 前月：45.2	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：41.4 (±0) 前月：41.4	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：46.1 (-0.5) 前月：46.6
--	---	---	---

##### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月：42.3 (+0.2) 前月：42.1	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：42.3 (-1.5) 前月：43.8	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：39.5 (+0.3) 前月：39.2	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：45.4 (-0.2) 前月：45.6
--	---	---	---

#### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月：-7.6 (+4.5) 前月：-12.1	<b>客単価DI</b> 当月：0.3 (+1.7) 前月：-1.4	<b>来客数DI</b> 当月：-8.9 (+4.7) 前月：-13.6	
<b>収益DI</b> 当月：-7.4 (+3.1) 前月：-10.5	<b>販売価格DI</b> 当月：3.1 (+5.9) 前月：-2.8	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月：7.3 (+8.6) 前月：-1.3	<b>食品仕入原価DI</b> 当月：3.7 (+1.8) 前月：1.9

#### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月：-13.0 (+6.5) 前月：-19.5	<b>水産DI</b> 当月：-10.8 (+9.2) 前月：-20.0	<b>畜産DI</b> 当月：4.2 (+3.4) 前月：0.8	
<b>惣菜DI</b> 当月：0.7 (+1.5) 前月：-0.8	<b>日配DI</b> 当月：-4.7 (-2.9) 前月：-1.8	<b>一般食品DI</b> 当月：-5.7 (-0.6) 前月：-5.1	<b>非食品DI</b> 当月：-10.5 (-0.1) 前月：-10.4

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 9月調査（8月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

当月やや上昇もマイナス圏での低迷が続く

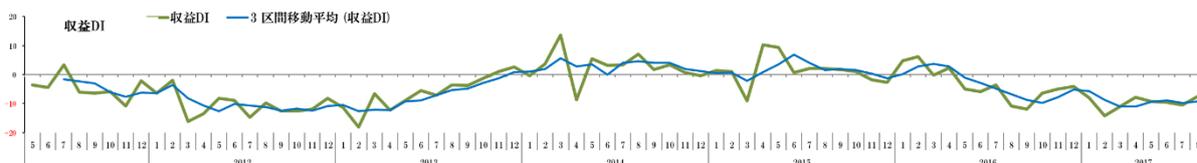
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	10.2	45.9	26.5	16.8	0.5	-12.1
売上高（当月）	8.9	35.6	34.4	19.4	1.7	-7.6



### 2. 収益DI

当月やや上昇もマイナス圏での低迷が続く

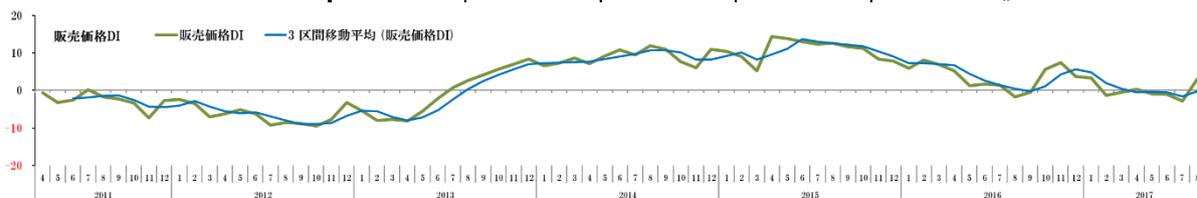
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	10.9	39.4	32.1	16.1	1.6	-10.5
収益（当月）	8.0	36.4	35.8	17.0	2.8	-7.4



### 3. 販売価格DI

2017年4月以来4か月ぶりにプラス転換

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	1.5	21.8	62.9	13.7	0.0	-2.8
販売価格（当月）	0.0	10.6	66.7	22.8	0.0	3.1



### 4. 客単価DI

わずかながら 2017年4月以来4か月ぶりにプラス転換

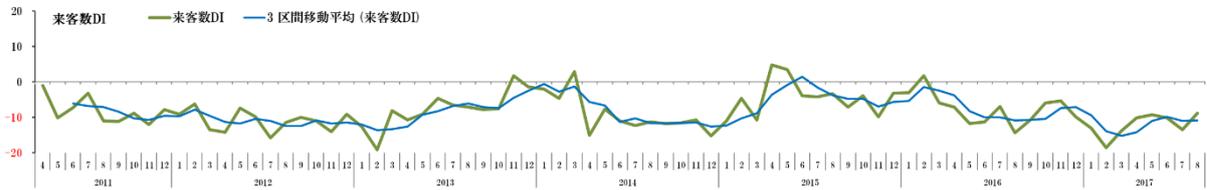
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	1.0	23.4	55.8	19.8	0.0	-1.4
客単価（当月）	0.6	23.3	50.6	25.6	0.0	0.3



## 5. 来客数 DI

当月やや上昇もマイナス圏での低迷が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	9.6	48.2	28.9	13.2	0.0	-13.6
<b>来客数 (当月)</b>	<b>7.3</b>	<b>37.4</b>	<b>39.7</b>	<b>15.1</b>	<b>0.6</b>	<b>-8.9</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

前月マイナスから再びプラス圏に上昇

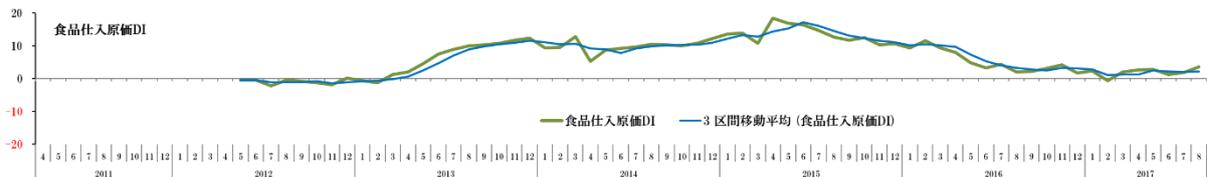
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	4.7	21.8	49.2	22.8	1.6	-1.3
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>1.7</b>	<b>7.9</b>	<b>52.0</b>	<b>36.2</b>	<b>2.3</b>	<b>7.3</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

わずかにプラス圏を維持し、横ばいでの推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.5	10.3	67.7	20.0	0.5	1.9
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>1.7</b>	<b>5.1</b>	<b>71.3</b>	<b>20.8</b>	<b>1.1</b>	<b>3.7</b>

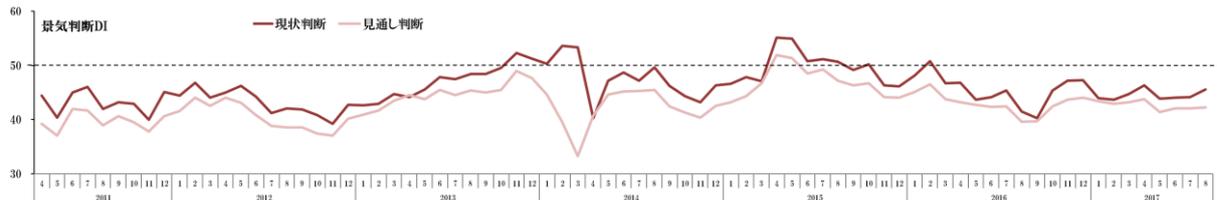


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は改善も、見通し判断は横ばい

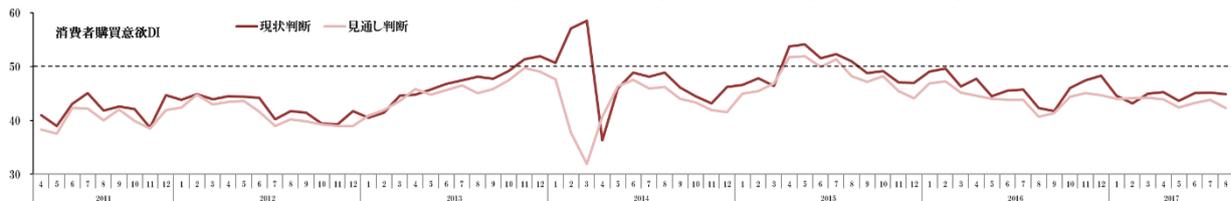
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.5	27.4	64.0	7.1	0.0	44.2
【現状】景気判断 (当月)	0.6	24.9	66.3	8.3	0.0	45.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.6	31.8	60.5	5.1	0.0	42.1
【見通し】景気判断 (当月)	1.7	32.0	61.9	4.4	0.0	42.3



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状・見通し判断共に小幅に悪化

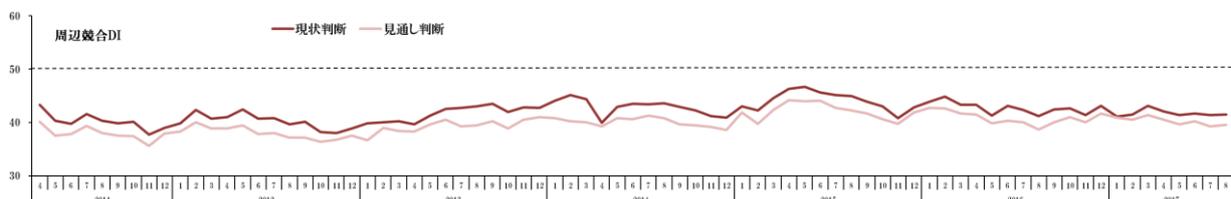
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.0	23.5	69.4	6.1	0.0	45.2
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	26.5	67.4	6.1	0.0	44.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.5	26.2	67.7	4.6	0.0	43.8
【見通し】購買意欲 (当月)	1.1	30.4	66.9	1.7	0.0	42.3



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断とも大きな変化はみられず

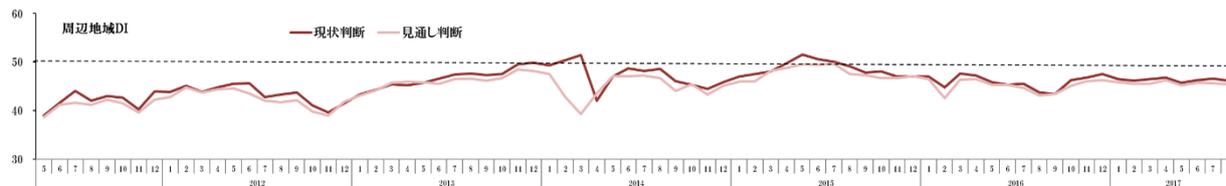
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	4.6	28.9	62.9	3.6	0.0	41.4
【現状】競合状況 (当月)	3.9	30.4	61.9	3.9	0.0	41.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	6.7	31.3	60.5	1.5	0.0	39.2
【見通し】競合状況 (当月)	5.0	34.8	57.5	2.8	0.0	39.5



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

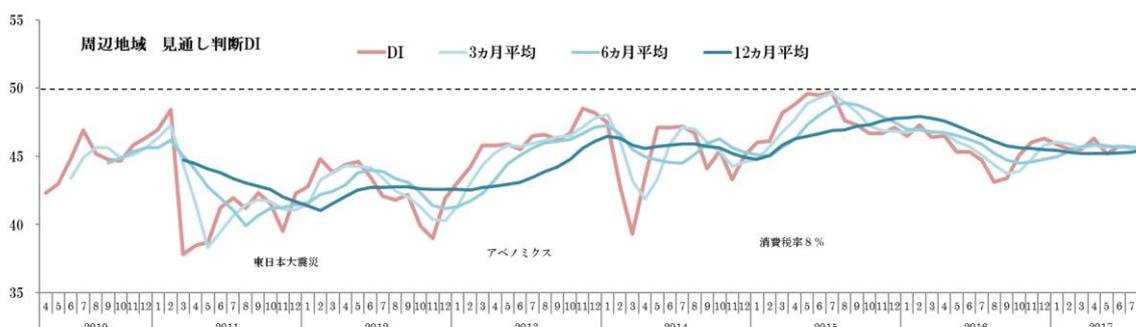
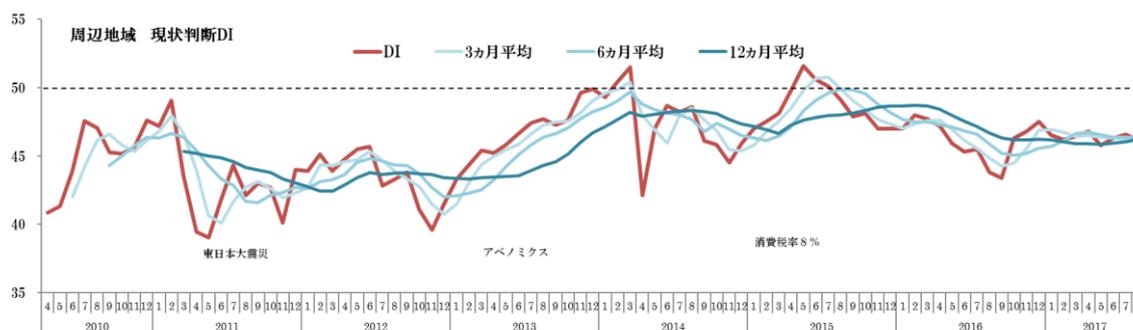
現状・見通し判断共に小幅に悪化

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	0.0	16.2	81.2	2.5	0.0	46.6
【現状】地域景気 (当月)	0.0	17.1	81.2	1.7	0.0	46.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	0.5	19.0	77.9	2.6	0.0	45.6
【見通し】地域景気 (当月)	0.6	18.2	80.1	1.1	0.0	45.4



#### 長期傾向 (2010年4月～)

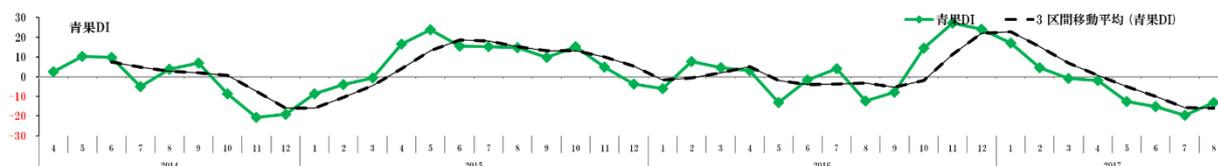
2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、12月まで小幅な改善が続いた。2017年に入り、方向感なく横ばい推移が継続し、直近は12ヵ月移動線付近で下げ止まっている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-13.0（不調）

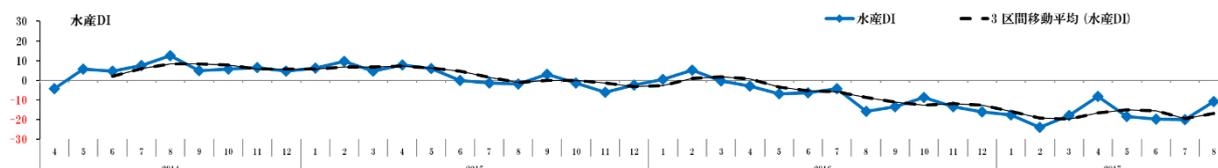
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	20.8	47.5	21.3	9.8	0.5	-19.5
<b>青果（当月）</b>	<b>19.3</b>	<b>32.7</b>	<b>31.0</b>	<b>14.6</b>	<b>2.3</b>	<b>-13.0</b>



月の前半は前月からの相場安に加え、前年天候不良で高騰していた北海道産イモ類やたまねぎが豊作により相場安となった影響を受け単価が下落し、売り上げが伸び悩んだ。トマトやキュウリなどのサラダ関連は好調となり、月後半は相場高になったことも追い風となった。果物は出荷の遅れた桃やぶどうが好調となった一方で、気温が低かった地域ではスイカやメロン、梨が不調とされた。カットフルーツの販売に力をいれており、好調となっている。

#### 2. 水産DI：-10.8（不調）

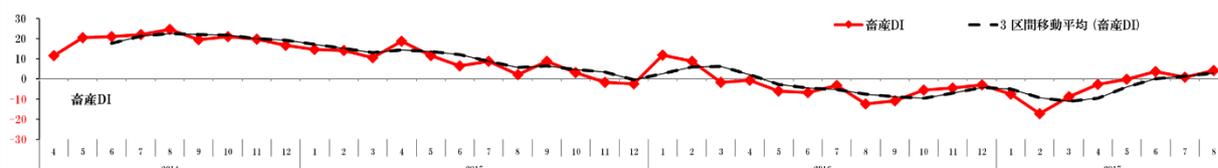
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	17.3	55.1	18.4	8.6	0.5	-20.0
<b>水産（当月）</b>	<b>12.1</b>	<b>39.3</b>	<b>31.2</b>	<b>14.5</b>	<b>2.9</b>	<b>-10.8</b>



土用二の丑があったことや、前年より相場安となったうなぎが国産、中国産問わず好調となった。生魚、刺身などが引き続きアニサキス報道による影響を受けているものの、お盆期間は前年並みとなった店舗が多かった。中旬以降売り込みを強化したサンマは価格高騰もあり、前年に比べ好調となっているほか、気温の影響を受け、焼き物類や煮物用が比較的好調となった地域もみられた。価格が高騰するマグロは好不調がわかれた。入荷が不安定な生魚を冷凍に切り替える店舗がみられる。

#### 3. 畜産DI：4.2（やや好調）

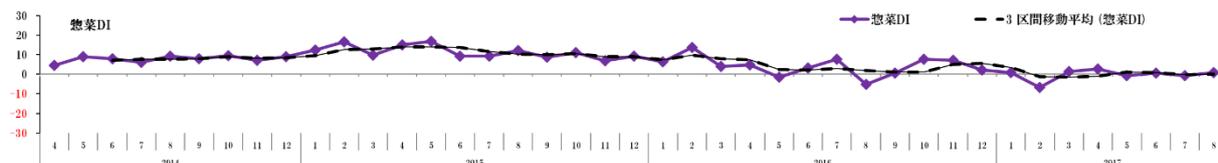
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	4.9	26.1	35.3	28.3	5.4	0.8
<b>畜産（当月）</b>	<b>5.2</b>	<b>19.7</b>	<b>34.1</b>	<b>35.3</b>	<b>5.8</b>	<b>4.2</b>



ステーキや焼肉用の牛肉が好調となった。輸入牛を中心に好調ではあるが、お盆時期は和牛やブランド牛の動きがよかった。豚肉は国産が相場高で伸び悩んだが冷シャブ用の動きはよかった。一方で価格上昇による数量減や輸入豚への需要のシフトにより伸び悩んだ店舗もみられた。鶏肉は国産で相場高の影響を受け好不調の判断がわかれている。加工肉は総じて不調とする店舗が多い。引き続き海産物からの需要シフトの指摘がみられた。

#### 4. 惣菜DI：0.7（やや好調）

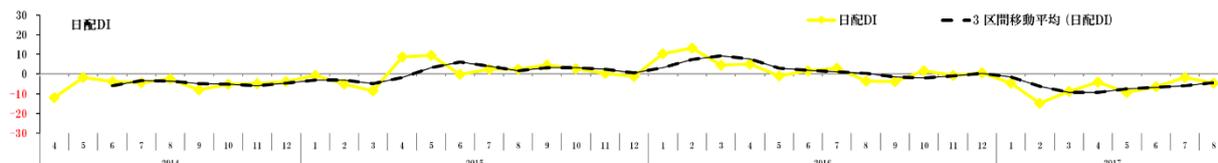
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	4.9	27.5	37.4	26.4	3.8	-0.8
<b>惣菜（当月）</b>	<b>4.7</b>	<b>23.5</b>	<b>40.0</b>	<b>27.6</b>	<b>4.1</b>	<b>0.7</b>



天候不順だった地域では、レジャー需要の減少や商品の売り筋が変化する影響があった。アニサキス報道の影響で寿司類や O157 の発生でサラダ類には影響がみられた。土用二の丑日にはうなぎ関連惣菜が好調となったが、お盆期間は、分散傾向が強まり伸び悩んだ。涼味商材は好不調まちまちとなっているが、前年との気温差が大きかった地域では、てんぷらや揚げ物は好調となった。

#### 5. 日配DI：-4.7（やや不調）

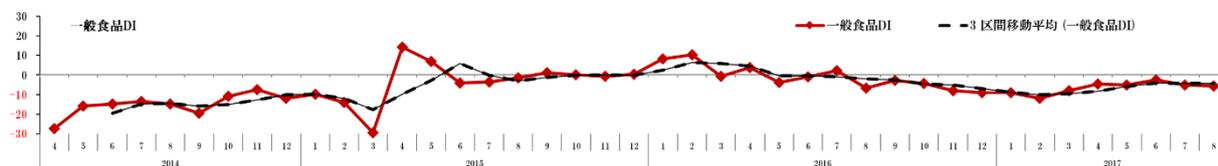
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	4.4	30.1	36.1	27.3	2.2	-1.8
<b>日配（当月）</b>	<b>7.1</b>	<b>29.4</b>	<b>40.0</b>	<b>22.4</b>	<b>1.2</b>	<b>-4.7</b>



前年との気温差が大きかった地域では、アイスの落ち込みが大きかった。涼味商材であるチルド飲料、麺類、豆腐、ところてんなども不調となった。一方で、夏休み需要として冷凍食品や、パン類が好調となっており、関連してバターやチーズの動きがよかったとするコメントがみられた。月後半からおでん商材を売り込んだ店舗も多くみられた。甘酒や豆乳が引き続き好調となっている。

#### 6. 一般食品：-5.7（やや不調）

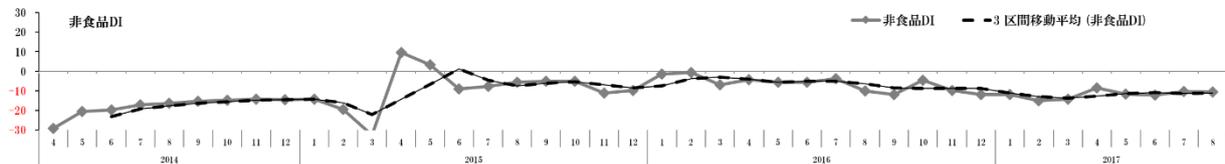
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	5.9	31.4	41.1	20.5	1.1	-5.1
<b>一般食品（当月）</b>	<b>7.0</b>	<b>32.7</b>	<b>37.4</b>	<b>21.6</b>	<b>1.2</b>	<b>-5.7</b>



前年との気温差が大きかった地域では、乾麺などの夏物商材、飲料やアルコール類の落ち込みが大きかった。夏休み需要でインスタント麺、単価が上昇傾向にある米類は好調とする店舗が多い。菓子類はスナック類やチョコレートが好調となっている。競合との価格競争を指摘するコメントが多くみられた。

## 7. 非食品 DI：-10.5（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	15.6	27.8	42.2	11.7	2.8	-10.4
非食品（当月）	10.8	35.9	39.5	12.0	1.8	-10.5



前年との気温差により夏物商材（制汗剤や日焼け止めなど）の動きが悪いが、ヒアリ報道などで殺虫剤が好調となった店舗もみられた。天候不順により花火類、前月に続いたばこや紙製品などは不調となった。ホームセンター、ドラッグストアとの価格競争の影響を指摘するコメントが多い。

### カテゴリ別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20      好調：20 ～ 10      やや好調：10 ～ 0  
 やや不調：0 ～ -10      不調：-10 ～ -20      かなり不調：-20～

### 2017年9月調査（8月実績）キーワード TOP3

1. 夏物商材不振（前年との気温差、猛暑日減少）
2. 天候要因（日照不足、降水量が多い）
3. お盆期間の変化（山の日の影響）

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

8月実績速報版 181社  
 7月実績確報版 197社

### スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)